



小教区
クリスマス会
(12/25)

「ステキな日曜日」で飾った婦人会

島のひかり ホームページアドレス

<http://lifeaidgoto.jp.cx/simanohikari/>



発行

カトリック浦頭教会
広報委員会
五島市平蔵町2716
TEL 0959-00072
印刷・(株)才津印刷所

あけまして

主任司祭 岩崎 晋吾

皆さん、新年おめでとうござ
います。昨年は四月の浦頭教会
着任当初から、皆様にはいろい
ろとご配慮とご協力をいただき、
心より感謝しております。個人
人のことばかりでなく、教会共
同体が昨年歩み続けて来られた
のも、神の導きと、これに信頼
してくださいました皆さんのおかげ
だと思っております。

昨年、私達は東日本大震災に
よる深い悲しみと苦しみを体験
しました。その傷はまだ癒され
てはいませんが、それでも新年
を迎えて、あえて「あけまして」
とご挨拶をいたします。私たち
は過去の重く苦しい体験があっ
ても、未来に生きていくように
招かれています。「あけまして」
とは、未来を開く言葉です。仏
教においては、一年の煩惱を除
夜の鐘と共に全て消し去り、新
しく出発していきます。そして
「あけまして」となるのです。

『もう新しくなったのです。そ
して次に向かいます。』そう
いうことです。震災は苦しみの
体験でした。しかし、このこと
で全てが不幸のうちに終わった
のではないのです。また新たに
されて希望のうちに始まるので
す。福音書を読みますと「あけま
して」の出来事がたくさんあり
ます。病気を癒された人々、弟
子達の召しだし、ラザロのよみ
がえり、姦通の女のゆるし、放
蕩息子のたとえ、そしてイエス
の復活。これ全て「あけまして」
であり、全てが新たにされ清め
られて出発していくお話です。
それは、古い物が新しい物に変
わるという次元のものではなく
て、神の祝福による「生まれ変
わり」の新しいさです。

どうぞ皆さん、今年はたくさ
んの「あけまして」を体験なさっ
てください。それは、「ゆるしの
体験」「新しい使命に生きること」
「無条件の愛を知ること」「信仰
者であることの喜び」という経
験によるものだと思います。
祝福の一年となりますように。



新年のごあいさつ

評議会副議長 鍋内 誠次

主の御生誕、新年明けまして、おめでとうございます。

初めに、昨年三月の東日本大震災で亡くなられた方、被災された方々に対しまして、心から哀悼の意と、謹んでお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈りいたします。

旧年中は、信徒の皆様方には評議会の活動に対しまして、ご協力をいただき誠にありがとうございました。力足らずの副議長ではありますが、多くの人に支えられ、どうにか一年過ごすことができました。心より感謝いたします。

さて、今年は辰年、中国では急流を遡る鯉が登りきると龍になると云われています。さすがに龍にはなれませんが、登ろうとするチャレンジ精神だけはしっかりと持って進んでいきたいと思っています。

教区では、シノドスの為の分かち合い、小教区では四十五周年に向けての諸行事など、今年も盛り沢山の一年となりますが、家庭の絆、地域の絆、共同体の絆で、力を合わせ共に頑張っていきたいと思えます。

本年も宜しくお願い致します。



わたしたちの新たな決意

善き信者として

赤崎 愛子



月日の経つのは早いですね。あつと言う間に

年を取った気がします。

私達家族が五島へ帰って来て、もう二十八年近くになりました。

私はこちらへ帰って来て数年後に、堅信の勉強を神父様に夜に教会で教えて頂きました。

堅信式を受ける事が出来、感謝しています。

今思えば、昼は仕事、夜は堅信の勉強、そのうえ子育てと毎日忙しく、あの頃は若かったと思ひ出します。又、私が信者として勉強不足のため、子供達の良い手本にもなれず悪かったと反省もしています。

これから先の人生を一カトリック信者として、皆さんに近づけるように頑張るつもりです。

“明日に向かって”

浜崎 哲司



今年、年男になりました。浜崎哲司です。

気がついたら、あつという間に三十六歳になりました。時間が経つのが早すぎです。気持ちだけは、二十代のつもりでがんばっています。

昨年から典礼委員に選ばれました。まだ入ったばかりで、右も左もわからず、皆様に迷惑をおかけすると思いますが、皆様の協力のほど、よろしくお願いいたします。

今からますます寒さが厳しくなってきましたが、体調を整えて、仕事、教会、地域、恋愛活動にがんばっていきたいと思えます。



巡礼団との 交流会

十月二十四日、ケベック宣教会所属のロワゼール神父様、他三十三名が巡礼で浦頭教会を訪れた。

巡礼者は、東京の赤堤教会、高幡教会、宮城の一本杉教会と他の教会の方々も少しおられました。当日の夕方六時三十分頃到着し、感謝のミサのあと浦頭の信徒と交流会。浦頭の信徒も、巡礼者に負けじと三十六名が参加。

神羊館ホールは満席となった。この日のもてなしをする為に、シメオン・アンナ友の会と婦人会は大活躍。男性は前日より海に出かけ魚をゲット。女性は五島の味を堪能して貰おうと手作りの料理を作ってくれた。

交流会でそれぞれの教会の自己紹介があり、全員がこのもてなしに大変喜んでおりました。巡礼者は、五島の様に幼児洗



礼ではなく、結婚を機に信者になった者、教会の魅力に共感して信者になった者が多かった。そして、浦頭出身の聖職者の多い事に大変ビックリして居りました。交流会は九時過ぎまで続き、帰りには五島の名物、「ふくれもち」「つきあげ」を手土産に帰られました。又、私達にも巡礼団よりお土産がありました。本当にありがたいございました。今回の交流会に当り、シメオン・アンナ友の会のご奉仕に感謝すると共に、これからの活躍を期待し、お礼申し上げます。大変お疲れ様でした。

『巡礼者よりお礼』

先日、ロワゼール神父様巡礼の旅に際しまして、岩崎神父様始め、信徒の皆様方には心からのおもてなしを頂き、誠に有難うございました。

お蔭様で、あとの巡礼の旅が大変に有意義なものになりました。同じカトリックを信ずる人でありながら、あれ程の酷い仕打を受けた人と、私の様にごく最近受洗した者の信仰の深さの違いを、しっかりと知り知らされました。

カトリック高幡教会
豊田 資則

五島・長崎巡礼から、二ヶ月になろうとしております。

交流会では、本当に皆様の篤い信仰と、心からのおもてなしにふれ、感動と感謝でいっぱい입니다。すぐにお礼を申さねばなりませんのに、おそくなり申し訳ございません。

高幡教会の会報と一緒にと思っ



ておりましたら、クリスマス特集号に巡礼については掲載される予定です。発行されましたらお送りいたします。

ニュースで、五島に大雨などと聞くと、どうなのかしらと心配になりました。寒さが厳しくなりました。ご自愛くださいませ。心からの感謝とお祈りのうちに。

カトリック高幡教会
長谷場弘子

福江島の教会を巡って

壮年会では、十一月十三日研修会として、教会巡りを計画実施しました。「知っているようで、知らない福江島に現存する教会。歴史や景観を目の当たりにして、先人達の信仰を学びながら、壮年会会員相互の親交も深める教会巡りを実施しますので、参加をお願いします。」と呼びかけたところ、教会巡りに三十二名、交流会を含めると、三十八名の参加がありました。当日は車六台に乗り合せ、浦頭教会下を出発し、楠原教会で朝八時三十分の御ミサに預かり、水の浦教会、打折教会、貝津教会と巡り、玉之浦のレストラン「パンドラ」で昼食をとり、その後、玉之浦教会、井持浦教会、立谷教会跡、最後に繁敷教会と巡りました。それぞれの教会で信仰の足跡、歴史について説明していただき、聖堂内では、お祈りと聖書朗読をして頂きました。最後の繁敷教会では、参加

者全員で、死者のためにお祈りをささげました。夕方五時から神羊館にて交流会を行いました。交流会の中では、参加された方々から、「今日は参加してよかったです。今度は家族で、子供をつれて。」という話を聞きながら、おいしいお酒とお魚を頂きました。私も数年後にはもう一度と、強く思いながら、充実した一日を過ごしました。最後に、この企画に協力・参加して頂いた皆さん、本当にありがとうございました。

浦口 一三



下五島地区

スポーツ大会開催

11/20

十一月二十日、岐宿B&Gにて下五島地区スポーツ大会が行われ、浦頭女子チームは赤尾スエミ監督のもと、十八名で試合に臨みました。

「優勝候補」とのプレッシャーもありましたが、みんな楽しんでプレーすることができました。途中、あぶない場面も何度かありましたが、応援の後押しと監督の名采配で乗り切り、無事優勝することができました。

監督、選手のみなさんお疲れ様でした。そして会場まで足を運んで応援してくださった皆さん、ありがとうございました。

赤尾 克子



アベック優勝!!

鍋内 秀喜

十一月二十日に小教区対抗スポーツ大会（ソフトバレー）が行われました。開会式では、浦頭小教区が優勝候補筆頭!?との話上がるほど注目されるなか、試合が始まりました。

試合は、浦頭の対戦チームに得点が入ると歓声上がるようなアウェイ的?な印象もありましたが、男子、女子とも監督の好采配で見事優勝を勝ち取ることができました。改めて浦頭小教区の団結力のすごさに感動しました。自分自身は数日間、肩が上がるらない状態が続きました



地区集会を終えて

…シノドスに向けて…

十一月二十七日の浦頭地区を最後に、六地区に分かれての小教区地区集会が終了しました。

今回は岩崎神父様にとり初めての集会で、顔合せの意味合いもあったが、主要な議題として教区シノドスの説明がありました。シノドスは「共に道を歩こう」という意味で、高見大司教様の考えのもと、これまでの長崎教区の歴史を踏まえ、将来の教区運営のための指針、道しるべを信徒全体で考え、共に歩もうとしておられます。

二年後には、教区代表者会議（教区シノドス）も予定されており、現在は教区の現状把握のため、アンケート用紙が配布されたいわば事業スタートの状況です。

浦頭小教区では、今後黙想会において、岩崎神父様のもとアンケートの取りまとめを行ない、三月中に提出する事になりました。

クリスマスを前に

十一月二十七日、イエズス様の誕生を迎えるため、教会内外の大掃除が行なわれた。植木の剪定、ツリーやイルミネーションの飾りつけ、草払いなどなど、腕に覚えのあるものが暗黙のうち、それぞれを担当して作業が進められた。キラキラと彩られた教会は、いつもとは違う顔で私達を迎えてくれることでしょう。今度は私達の心をきれいにしてイエズス様の誕生を迎える番です。



クリスマスの飾り付け

牢屋の窄殉教祭

ロザリオの月、十月三十日に牢屋の窄殉教祭が行なわれた。計画では、直接現地で式典とミサになっていたのですが、前日からの雨で、浜脇教会での殉教祭となった。

ミサは、福江教会の下口神父様が司式し、説教は三井楽教会の竹谷神父様がなされました。

冒頭に「信者の方は手をあげて下さい」「信仰を愛し命を掛けて守っていますか」との問いに度肝を抜かされました。

だれでもカトリック信者ではあるが、命を掛けるまでの信仰があるでしょうか。

最後に、久賀の人々が迫害を受け、命を掛けて守り通した信仰を、私達を守り育てていく使命があると痛感し、私達、大変身にしみる説教でした。



秘跡

《帰天》

フランシスコ 中村文雄（七三）

二〇一一年十月十三日

テレジア 梅木イサエ（七九）

二〇一一年十二月二日

カタリナ 鍋内ヤエノ（八十）

二〇一一年十二月十七日

グレゴリオ 江口 進（八一）

二〇一一年十二月二十八日

《洗礼》

マグダラのマリア

鍋内 心優（みゆ）一〇月

ヨゼフ

鍋内 優海（ゆう）九歳

受洗日

二〇一一年十一月二十三日

（父…孝之 母…めぐみ）

《転出》

ドミニコ 川口 雄史

（名古屋教区 刈谷教会へ）

二〇一二年一月八日付

平和のぼら保育園 クリスマスおゆうぎ会

十二月十二日(日)に開催された、園児たちのおゆうぎ会に、



保護者やご家族、地域の方々、慈恵院のみなさま、小学校の校長先生など、たくさんおいでくださいました。

温かい拍手や声援を受けて、ちょっと緊張気味だった園児たちは、次第にはころんだ表情で元気に演技できました。

聖劇『みんなで歌おうクリスマス』の後に、浦頭教会の岩崎

神父様から会場のみなさまに、

「クリスマスは世界中で祝う温かく、優しいとき。主役のイエ

スさまを思い出しましょう」とのメッセージをいただきました。

今年は年長組が四名だけなので、四歳児も大活躍。でも何より、誰ひとり泣くことなくしつ

かり舞台を勤めてくれ、大きな喜びでした。

最後は年長組の四人が、『花

〜すべての人の心に花を〜』、『花吹雪・三日月城』を遊戯で

締めてくれ、サンタさん登場で、園児たちの大興奮のうちに、お

ゆうぎ会を閉じました。



成人式を迎えて

川口孝輔



私達は今、

二十歳という

人生において

大きな節目を

迎えました。この節目にあたって、今までの二十年間を思い返

してみると、頭に浮かんだのは、

たくさんの人達への感謝でした。

家族や友達を始め、多くの人々

に支えられて成長してきました。

私は小学生の時はサッカーク

ラブで、中学生の時はバレー部

の活動で、地域の方々の協力に

支えられてきました。まだまだ

未熟者ですが、今まで支えられ

てきた私達が、これからは支え

る側になれるように、社会人と

しての自覚を持ち、大人として

の責任を持ち頑張ります。

また、二十歳になった今、こ

れまでとは違う責任を持たなけ

ればならないと思います。

まだ大人の仲間入りをしたと

いう実感はありませんが、自分

のすることには自分自身で責任を持てるように心がけたいと思います。

まだまだこれから先、何が起

こるかわからないですが、一緒に育ってきた仲間とともに、周

囲の人々への感謝の気持ちを忘

れずに、一人一人が将来に向かっ

て頑張っていきたいと思います。

小教区信徒の皆様へ

前略、このたびの近火による類焼の際は、消火作業、焼跡の整理など、多くの方々からご尽力を賜わり、また、早速の心からなるお見舞いをいただき、有り難く感謝申し上げます。お陰様で皆様のご支援により、家の改築も出来、落着くことができました。

今後は皆様のご芳情にお応えできますよう、努力いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

平蔵町榎ノ浦

福浦長一郎

素敵なクリスマス ありがとう

クリスマスお祝いのミサ後に、毎年行なわれていますクリスマス会は、保育園児の遊戯から始まりました。素直な眼差しで行う演技や、かわいいう仕草に拍手と笑顔の連続でした。

また、少子化の進む中、一度にこのステージに上がってしまったう程に少なくなった小学生全員による、人気TVドラマの寸劇・合唱の演目でした。

シメオン・アンナ会等の洪く甘い声のカラオケがあったり、震災等で沈んでしまった人々に明るさと元気を取り戻すかのような、婦人会の『素敵な日曜日』のダンス、かわいく、若さ溢れ、素敵なクリスマスになったようです。

抽選クジも行なわれ、くる年の運を引き当てるかのように、当選の品とクジ番号とのにらめっこで、一喜一憂の世界でした。

更に今年は、『鮪の解体ショー』のサプライズがありました。壮年会々長の浦口一三さんと会員と、有志一同による解体で、包丁さばきの見事さと、初めて見る人々も多く、驚きの表情の人もいたようです。



このクリスマス会を成功に導いてくださった出演者の皆様、おでん等で裏方で活躍した皆様、準備の皆様お疲れさまでした。「ちゃんと神様が見てくれます」のみにいだけられた温かい心で行きましょう。

明けまして新年会 大盛會



一月八日、岩崎神父様を囲んで、龍年最初の集いが催されました。会には三十数名という、

例年以上の信徒と共に、各々が持ち寄った新鮮な食材が所狭しとテーブルに並べられました。中には、今年成人を迎えた木口和也君と赤尾章弥君もいて、帰り際には二人して将来の抱負等を語り出しました。まわりの合いの手も含めた笑顔のサポートもあり、場はちょっとした青年の主張風と化しました。

そんなこんなもあった会でしたが、集いを後ろからしっかりと支えてくれたのは、何と云ってもシメオン・アンナ会。よりどりみどりの魚を用意してくれ、新年に寄る人達の輪が少しでも明るく彩られる様計らってくれました。多くの支えを受けながら乗り出した二十四年型浦頭教会丸に乞うご期待。

ありがとう

静岡市	松	キミ子
愛知県	大川	敏明
長崎市	濱口	長一
福岡県	磯辺	末子
長崎市	浦	宗一
大阪府	米井	カオル
佐世保市	松田	トミ子

おたより

前号では純心子供の集いに、曾根教会の子供達と共にされた体験は、素晴らしいですね。又、シスター片岡の講演会、加藤久雄先生のお話、浦頭の牢屋跡、楠原の牢屋跡の写真等も、とても興味深く読ませていただきました。先祖たちの残して下さった信仰の遺産をいただいたことを感謝し、本物の信仰に成長できますように、取りつぎを求めています。

聖血礼拝修道女会

シスター 鍋内フジエ

いつも「島のひかり」をお送りいただき有難うございます。広報紙発行の一部に使っていただければ幸いです。

長崎市三景台町 濱口 長一

いつも島のひかり送っていただき有難うございます。編集長をはじめ、島のひかりを作成して頑張る皆さんに感謝致します。
五島市松山町 外輪 力夫

ふるさとだより

クリスマス・コンサート

年の瀬も迫る十二月十一日、二時より、奥浦混声合唱団によるコンサートが浦頭教会に於いて開催された。昨年を記念すべき二十回を終え、今年二十一回という新たな第一歩を踏み出した。会場は昼間であったせいか、満席となり、オープニング「きよしこの夜」に始まり、今年は大曲「青春譜」に挑戦。完璧ではないものの満足感があったと思う。

賛助出演もあり、奥浦小の元気いっぱい歌声、奥浦中三年女子による、さわやかなハーモニー、シスター・コール・アンゼラスによる清らかな聖歌は、心を洗われる思いであった。最後に、「もろびとこぞりて」を会場の皆さんと共に歌い、喜びの内に発表会を終えることが出来た。会場においていただいた皆様、有り難うございました。

堂崎道路改良工事

昨年度より、奥浦港から堂崎天主堂入口までの海岸線の道路工事が行われている。現在は、地理的に曲がりくねっていた石山付近の山切が行われており、完成は左右にハンドルを切る量、回数とも少なくなりそうである。また、旧慈恵院跡地下の護岸工事も行われており、海岸線の雑木の伐採も行われた。今まで木に覆われていた海岸線は、海をはさんで対岸の浜泊方面の山もはっきり見る事ができ、すっきりした印象である。

元々狭く、カーブが続く道であるため、運転に慣れた地元の人よりも、観光バス、観光客には大いに助かる拡張工事である。完成にもう数年かかると思われる為、通勤、通学する人にはもうしばらくの辛抱であるが、広くなった道での運転を心待ちにしたいと思う。ふるさとへお帰りの際は、完成した道でドライブされてはいかがでしょう。

ロボコンを通して

奥浦中教諭 平山 俊之

「三年生男子全員で全国大会に行く」ことを目標に、運動会、駅伝大会と各種行事に追われ、時間がないうちで工夫して製作、練習に取り組んだ四ヶ月でした。五島市大会、県大会、九州大会と大会ごとに自信をつけ、成長し続けた生徒たち。九州大会では優勝チーム、準優勝チームと当ってしまい、全員での全国大会は惜しくも実現できませんでしたが、生徒たちは大会を通



じて、自分たちの力が県外でも十分に通用することが分かったと思います。

これまでの取り組みの中で、生徒全員から、支えてくれた仲間、保護者、地域の人たちへの感謝の言葉を聞くことができました。ロボコンの取り組みの最大の成果だと思います。これから一月の全国大会に向けて、さらに改良と練習を行い、九州代表として上位入賞を目指し、取り組んでいきたいと思えます。応援よろしく願います。

光あふれる良い年になりますように、五島の地よりお祈りしたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

島のひかり編集委員一同

